



しおかぜ



7月13日(土)と14日(日)の両日、塩竈道院専有道場に於いて、「本山公認宮城城区研修会」を開催します。

開催会場が、塩竈道院専有道場、そして懇親会はホテルグランドパレス塩釜となっておりますので、道院の拳士は受付や車の誘導等宜しくお願い致します。

本山公認研修会を開催します



2019.05.26 開祖デーを終えて

塩竈ガス体育館で宮城県大会

9月1日(日)に塩竈ガス体育館を会場に少林寺拳法宮城県大会が開催されます。この大会は宮城県内の32道院・支部が参加し組演武・団体演武そして単独演武を競い合う大会です。

今後、この大会に向けて稽古を続けますので宜しくご協力をお願い致します。

また、この9月1日は、塩竈市議会議員選挙と市長選挙の投票日となっております。その前一週間は、選挙運動期間になりますので8月24日(土)から31日(土)までは、塩竈道院の稽古を休みと致しますのでご協力をお願い致します。

宗由貴 代表メッセージ

2019年5月1日発信

日本の教育と文化の中から学ぶこと

戦争のない平和な時代「平成」が終わり、「令和」の時代が始まりました。

この時代を生きる私たちは、どんな生き方を選択するのでしょうか。

92歳にして再びマレーシアの首相に返り咲いたマハティール氏は、マレーシアの将来のために、若者に『日本人に学ぶこと』を強調しています。日本の教育と文化の中から育っていた「責任感」「羞恥心」「向上心」という

ものを評価し学ぶことを、以前の第4代首相を務めた1981年から提唱しています。

2003年に発刊された、そのマハティール首相の書『立ち上がれ日本人』は、地球の中で共に「アジア」に位置する国として、またそこにある文化とともに生きる人として、私たち日本人が忘れていた大切なことを示されているように思います。

考えてみれば、1947年に宗道臣によって創始された少林寺拳法も、敗戦により日本人としての自信と誇り、希望も何もかもなくした状況下に、「自己確立」「自他共楽」を掲げ、自分(自国)の幸せだけではなく、他人(ひと)の幸せも本気で考えられる、そんな人づくりをしたという志の下に始まりました。

2019.05.26 特別養護老人ホームで



今後の予定

- ◎ 7月13日(土) 09:00～14日(日)12:30 宮城教区主催 本山認定研修会(塩竈道院専有道場・研修室)
- ◎ 7月26日(金) 18:00から 塩竈教区昇級試験・僧階取得のための勉強会(塩竈道院専有道場 研修室)
- ◎ 8月12日(月)～15日(木) 道院の夏休み(稽古は休み)
- ◎ 8月2日(金) 18:00から 塩竈教区昇級試験(塩竈道院専有道場 研修室)
- ◎ 8月24日(土)～31日(土)塩竈道院のみ稽古休み

手段が武道であるために、上手・下手、センスの有無やメダルの数など見える範囲に心が奪われることもあるでしょう。しかし、一人の人間としての行いに対する責任感と、失敗したときの羞恥心と、それを改め、やり直そう、変わろうとする向上心を養っていることを忘れてはなりません。

「恥ずかしい！」と心底思えないということとは、人としてとてももったいないことです。変わるチャンスも、もつとよくなるチャンスも放棄することです。



中国古典 紹介

「い忌めばすなわ則ちうら怨み多し」を掲載『左伝』

「忌む」とは嫌うこと。対人関係でそんな感情を露骨に出すこと。人の恨みを買うことが多くなるというのだ。当然と言えば、当然のことである。

とは言え、どうしても好きになれない相手

手というのは必ずいるものだ。しかし、そんな相手でも、距離を置いて淡々と対すれば、それでよいのではないか。ことさらに嫌悪感など示すのは愚の骨頂であろう。

「忌めば則ち怨み多し」を、とくに肝に銘じておいてほしいのは、人の上に立つ人間である。リーダーが部下に対して、あいつは嫌い、こいつはいやだとえり好みをしていたのは、組織はガタガタになってしまう。

リーダーは公平な態度で部下に接しなければならぬ。これはリーダーの重要な条件であるが、この公平原則を破る大きな原因の一つが、えり好みである。その結果、感情的な人事がまかりとり、そのムリはいくらも必ずリーダー自身自身にはねか返ってくるのである。

入門拳士紹介

- ◎ 丹羽恋雪(こゆき)拳士
4月に仙台杜都道院に入門
小学校5年生
- ◎ 沼田豪牙(ごうが)拳士
4月に仙台杜都道院に入門
小学校3年生
- ◎ 丹羽海惺(かいせい)拳士
4月に仙台杜都道院に入門
小学校2年生

